

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年1月30日

協議会名: 茨城県バス対策地域協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
茨城交通株 系統:大宮営業所～水戸駅	大宮営業所～中瓜連～水戸駅の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き次のとおり利用促進策を実施。 ①沿線地域中学3年生へ高校進学時のバス利用促進チラシの配布。 ②バス利用啓発活動として沿線地域イベントでの時刻表配布、沿線地域への時刻表配布を実施。 ③沿線地域での乗り方教室実施 ④高齢者、免許返納者に対する助成制度に協力、継続実施。	A 計画に位置付けられた事業は適切に実施された。	【目標】 ○1日当たり輸送量 32.1人 ○収支率 61.1% ○収入増 410千円/年 ○輸送人員増 888人増/年 【結果】 ○1日当たり輸送量 30.9人 ○収支率 56.6% ○収入増 1,000千円/年 ○輸送人員増 1,677人増/年	県・沿線市町村・関係機関との連携を密にして、バス利用案内、啓蒙活動を実施するとともに、自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起こしを図り、目標達成に向けた取り組みを行う。
茨城交通株 系統:浜田営業所～御前山車庫	浜田営業所～石塚車庫～御前山車庫の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き次のとおり利用促進策を実施。 ①利用者の利便性を確保するため普通運賃・定期運賃の割引を継続して実施。(実証実験) ②沿線市町と連携し、市報・町報を通じたバス利用の広報活動を実施。また、毎月1回城里町庁舎内にて定期券の出張販売を継続。 ③沿線地域中学3年生へ高校進学時のバス利用促進チラシの配布。 ④高齢者、免許返納者に対する助成制度に協力、継続実施。 ⑤水戸駅接続ダイヤの見直し実施。	A 計画に位置付けられた事業は適切に実施された。	【目標】 ○1日当たり輸送量 48.0人 ○収支率 75.0% ○収入増 700千円/年 ○輸送人員増 1,546人増/年 【結果】 ○1日当たり輸送量 44.5人 ○収支率 65.7% ○収入増 △763千円/年 ○輸送人員増 △3,163人/年	県・沿線市町村・関係機関との連携を密にして、バス利用案内、啓蒙活動を実施するとともに、自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起こしを図り、目標達成に向けた取り組みを行う。
茨城交通株 系統:太田営業所～里川入口	太田営業所～小中車庫～里川入口の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き次のとおり利用促進策を実施。 ①沿線地域での乗り方教室、ICカード出張販売を実施。 ②「路線バス買い物ツアー」を実施。 ③沿線中学3年生に定期券案内チラシを作成配布。 ④高齢者、免許返納者に対する助成制度に協力、継続実施。 ⑤常陸太田駅接続ダイヤの見直し実施。	A 計画に位置付けられた事業は適切に実施された。	【目標】 ○1日当たり輸送量 18.4人 ○収支率 29.3% ○収入増 370千円/年 ○輸送人員増 801人増/年 【結果】 ○1日当たり輸送量 16.1人 ○収支率 23.8% ○収入増 △234千円/年 ○輸送人員増 △1,256人/年	県・沿線市町村・関係機関との連携を密にして、バス利用案内、啓蒙活動を実施するとともに、自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起こしを図り、目標達成に向けた取り組みを行う。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年1月30日

協議会名: 茨城県バス対策地域協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
茨城交通株 系統:水戸駅～水戸医療センター	水戸駅～桜ノ牧高校前～水戸医療センターの運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き次のとおり利用促進策を実施。 ①桜ノ牧高校にて新入生及び在校生を対象とした通学定期券の出張販売を実施。 ②水戸医療センター内にポケット時刻表を設置。 ③沿線地域へバスマップ時刻表を作成、ポスティング実施。 ④水戸駅接続ダイヤの見直し。	A 計画に位置付けられた事業は適切に実施された。	B 【目標】 ○1日当たり輸送量 57.2人 ○収支率 70.0% ○収入増 400千円/年 ○輸送人員増 962人増/年 【結果】 ○1日当たり輸送量 55.3人 ○収支率 64.1% ○収入増 469千円/年 ○輸送人員増 △2,773人/年	県・沿線市町村・関係機関との連携を密にして、バス利用案内、啓蒙活動を実施するとともに、自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起こしを図り、目標達成に向けた取り組みを行う。
茨城交通株 系統:茨大前営業所～那珂湊駅	茨大前営業所～アクアワールド大洗～那珂湊駅の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き次のとおり利用促進策を実施。 ①沿線地区各イベントに参加し、時刻表配布、ICカードを利用した乗り方教室、らくがきバス(バス車両に、イベントに集まった人たちが直接絵を描くイベント)を実施。 ②茨城大生との企画乗車券検討 ③適正なダイヤの見直し検討。	A 計画に位置付けられた事業は適切に実施された。	C 【目標】 ○1日当たり輸送量 56.5人 ○収支率 65.3% ○収入増 700千円/年 ○輸送人員増 1,066人増/年 【結果】 ○1日当たり輸送量 55.3人 ○収支率 58.7% ○収入増 △4,043千円/年 ○輸送人員増 △19,065人/年	県・沿線市町村・関係機関との連携を密にして、バス利用案内、啓蒙活動を実施するとともに、自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起こしを図り、目標達成に向けた取り組みを行う。
茨城交通株 系統:茨大前営業所～平磯中学校下	茨大前営業所～東大野～平磯中学校下の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き次のとおり利用促進策を実施。 ①沿線地域中学3年生へ高校進学時のバス利用促進チラシを配布。 ②沿線高等学校にて通学定期券の出張販売を実施(那珂湊高等学校) ③学校の登下校時刻に合わせた運行時刻ダイヤ見直し実施。	A 計画に位置付けられた事業は適切に実施された。	C 【目標】 ○1日当たり輸送量 86.9人 ○収支率 87.8% ○収入増 770千円/年 ○輸送人員増 1,388人/年 【結果】 ○1日当たり輸送量 72.5人 ○収支率 74.9% ○収入増 △5,173千円/年 ○輸送人員増 △9,866人/年	県・沿線市町村・関係機関との連携を密にして、バス利用案内、啓蒙活動を実施するとともに、自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起こしを図り、目標達成に向けた取り組みを行う。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年1月30日

協議会名: 茨城県バス対策地域協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
茨城交通株 系統:水戸駅～友部駅	水戸駅～旭台団地入口～友部駅の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き次のとおり利用促進策を実施。 ①商業施設イベントに参加し、らくがきバス(バス車両に、イベントに集まった人たちが直接絵を描くイベント)及びチラシ配布を実施。 ②茨城歯科専門学校にて通学定期券の出張販売を実施する。 ③沿線施設へバスマップ時刻表設置。 ④沿線地域へバスマップ時刻表のポスティング実施。 ⑤水戸駅接続ダイヤの見直し実施。	A 計画に位置付けられた事業は適切に実施された。	B 【目標】 ○1日当たり輸送量 29.0人 ○収支率 76.3% ○収入増 240千円/年 ○輸送人員増 665人/年 【結果】 ○1日当たり輸送量 26.5人 ○収支率 65.0% ○収入増 417千円/年 ○輸送人員増 2,757人/年	県・沿線市町村・関係機関との連携を密にして、バス利用案内、啓蒙活動を実施するとともに、自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起こしを図り、目標達成に向けた取り組みを行う。
茨城交通株 系統:赤塚駅南口～水戸医療センター	赤塚駅南口～桜の牧高校前～水戸医療センターの運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き次のとおり利用促進策を実施。 ①桜ノ牧高校にて新入生及び在校生を対象とした通学定期券の出張販売を実施する。(桜ノ牧高校) ②水戸医療センター通院者の利便性確保のためポケット時刻表を設置。 ③沿線地域へバスマップ時刻表を作成、ポスティング実施。	A 計画に位置付けられた事業は適切に実施された。	B 【目標】 ○1日当たり輸送量 35.6人 ○収支率 54.9% ○収入増 160千円/年 ○輸送人員増 578人/年 【結果】 ○1日当たり輸送量 28.0人 ○収支率 42.2% ○収入増 725千円/年 ○輸送人員増 285人/年	県・沿線市町村・関係機関との連携を密にして、バス利用案内、啓蒙活動を実施するとともに、自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起こしを図り、目標達成に向けた取り組みを行う。
茨城交通株 系統:水戸駅～イオンモール水戸内原	水戸駅～赤塚駅～イオンモール水戸内原の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き次のとおり利用促進策を実施。 ①温泉施設と連携した企画乗車券を継続発売。 ②沿線学校での乗り方教室、らくがきバス(バス車両に、イベントに集まった人たちが直接絵を描くイベント)を実施。	A 計画に位置付けられた事業は適切に実施された。	B 【目標】 ○1日当たり輸送量 69.8人 ○収支率 93.0% ○収入増 410千円/年 ○輸送人員増 739人/年 【結果】 ○1日当たり輸送量 69.8人 ○収支率 85.5% ○収入増 △775千円/年 ○輸送人員増 3,170人/年	県・沿線市町村・関係機関との連携を密にして、バス利用案内、啓蒙活動を実施するとともに、自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起こしを図り、目標達成に向けた取り組みを行う。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年1月30日

協議会名: 茨城県バス対策地域協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
茨城交通株 系統:水戸駅～野口車庫	水戸駅～石塚車庫～野口車庫の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き次のとおり利用促進策を実施。 ①利用者の利便性を確保するため普通運賃・定期運賃の割引を継続して実施。(実証実験) ②沿線市町と連携し、市報・町報を通じたバス利用の広報活動を実施。また、毎月1回城里町庁舎内にて定期券の出張販売を継続して実施。 ③沿線地域中学3年生へ高校進学時のバス利用促進チラシを配布。 ④高齢者、免許返納者に対する助成制度に協力、継続実施。 ⑤水戸駅接続ダイヤの見直し実施。	A 計画に位置付けられた事業は適切に実施された。	B 【目標】 ○1日当たり輸送量 40.7人 ○収支率 88.6% ○収入増 420千円/年 ○輸送人員増 910人/年 【結果】 ○1日当たり輸送量 35.8人 ○収支率 74.1% ○収入増 820千円/年 ○輸送人員増 △7,104人/年	県・沿線市町村・関係機関との連携を密にして、バス利用案内、啓蒙活動を実施するとともに、自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起こしを図り、目標達成に向けた取り組みを行う。
茨城交通株 系統:水戸駅～下江戸	水戸駅～国田局前～下江戸の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き次のとおり利用促進策を実施。 ①沿線地域中学3年生へバス利用促進チラシを配布。 ②沿線地域へバス時刻表ポスティング実施 ③高齢者、免許返納者に対する助成制度に協力、継続実施。	A 計画に位置付けられた事業は適切に実施された。	C 【目標】 ○1日当たり輸送量 19.0人 ○収支率 67.2% ○収入増 140千円/年 ○輸送人員増 292人/年 【結果】 ○1日当たり輸送量 17.6人 ○収支率 63.3% ○収入増 △290千円/年 ○輸送人員増 △1,582人/年	県・沿線市町村・関係機関との連携を密にして、バス利用案内、啓蒙活動を実施するとともに、自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起こしを図り、目標達成に向けた取り組みを行う。
茨城交通株 系統:茨大前営業所～勝田営業所	茨大前営業所～勝田駅前～勝田営業所の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。 ①沿線自治体のイベントに参加し、ICカードを利用したバスの乗り方教室を実施。 ②バスマップを作成し、沿線地区へ配布	A 計画に位置付けられた事業は適切に実施された。	B 【目標】 ○1日当たり輸送量 34.2人 ○収支率 82.2% ○収入増 250千円/年 ○輸送人員増 1,000人/年 【結果】 ○1日当たり輸送量 36.0人 ○収支率 79.0% ○収入増 1,505千円/年 ○輸送人員増 905人/年	県・沿線市町村・関係機関との連携を密にして、バス利用案内、啓蒙活動を実施するとともに、自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起こしを図り、目標達成に向けた取り組みを行う。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年1月30日

協議会名: 茨城県バス対策地域協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
茨城交通株 系統:水戸駅～笠松運動公園前	水戸駅～市毛十文字～笠松運動公園前の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。 ①沿線自治体のイベントに参加し、ICカードを利用したバスの乗り方教室を実施。 ②バスマップを作成し、沿線地区へ配布 ③沿線施設のHPへバスアクセス情報掲出	A 計画に位置付けられた事業は適切に実施された。	B 【目標】 ○1日当たり輸送量 26.1人 ○収支率 88.8% ○収入増 110千円/年 ○輸送人員増 196人/年 【結果】 ○1日当たり輸送量 27.1人 ○収支率 91.6% ○収入増 △387千円/年 ○輸送人員増 △89人/年	県・沿線市町村・関係機関との連携を密にして、バス利用案内、啓蒙活動を実施するとともに、自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起こしを図り、目標達成に向けた取り組みを行う。
茨城交通株 系統:鯉淵営業所～水戸駅	鯉淵営業所～河和田小学校～水戸駅の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。 ①商業施設イベントに参加し、らくがきバスを実施し、チラシ配布。 ②茨城歯科専門学校にて通学定期券の出張販売を実施する。 ③沿線施設へバスマップ時刻表設置 ④沿線地域へバスマップ時刻表ポスティング実施 ⑤沿線学校にて乗り方教室実施 ⑥水戸駅接続ダイヤの見直し実施。	A 計画に位置付けられた事業は適切に実施された。	B 【目標】 ○1日当たり輸送量 37.7人 ○収支率 91.9% ○収入増 190千円/年 ○輸送人員増 527人/年 【結果】 ○1日当たり輸送量 37.5人 ○収支率 85.9% ○収入増 173千円/年 ○輸送人員増 △6,736人/年	県・沿線市町村・関係機関との連携を密にして、バス利用案内、啓蒙活動を実施するとともに、自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起こしを図り、目標達成に向けた取り組みを行う。
茨城交通株 系統:馬場八幡前～大甕駅前(大橋経由)	馬場八幡前～大橋～大甕駅前の運行	①バスの乗り方教室開催 沿線各地区でのバスの乗り方教室を実施。 ②日立市のお出掛け支援事業に協力し、お得な路線バス運賃カードを販売 ③2019年3月BRT(大甕駅～多賀駅間)本格運行実施にあわせ、日立市内のバス路線の再編を実施。 ④2019年3月BRT(大甕駅～多賀駅間)本格運行実施にあわせ、常陸太田市内のバス路線の再編を実施。	A 計画に位置付けられた事業は適切に実施された。	A 【目標】 ○1日当たり輸送量 44.1人 ○収支率 40.4% ○収入増 120千円/年 ○輸送人員増 400人/年 【結果】 ○1日当たり輸送量 45.7人 ○収支率 46.8% ○収入増 1,249千円/年 ○輸送人員増 6,267人/年	県・沿線市町村・関係機関との連携を密にして、バス利用案内、啓蒙活動を実施するとともに、自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起こしを図り、目標達成に向けた取り組みを行う。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年1月30日

協議会名: 茨城県バス対策地域協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
茨城交通株 系統:馬場八幡前～大甕駅前 (はたそめ入口経由)	馬場八幡前～はたそめ入口～大甕駅前の運行	①バスの乗り方教室開催 沿線各地区でのバスの乗り方教室を実施 ②日立市のお出掛け支援事業に協力し、お得な路線バス運賃カードを販売 ③2019年3月BRT(大甕駅～多賀駅間)本格運行実施にあわせ、日立市内のバス路線の再編を実施。 ④2019年3月BRT(大甕駅～多賀駅間)本格運行実施にあわせ、常陸太田市内のバス路線の再編を実施。	A 計画に位置付けられた事業は適切に実施された。	A 【目標】 ○1日当たり輸送量 23.0人 ○収支率 40.0% ○収入増 1,000千円/年 ○輸送人員増 3,000人/年 【結果】 ○1日当たり輸送量 30.6人 ○収支率 47.5% ○収入増 5,061千円/年 ○輸送人員増 23,298人/年	県・沿線市町村・関係機関との連携を密にして、バス利用案内、啓蒙活動を実施するとともに、自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起こしを図り、目標達成に向けた取り組みを行う。
茨城交通株 系統:馬場八幡前～大甕駅前 (太田二高・太田西山高校前経由)	馬場八幡前～太田二高・太田西山高校前～大甕駅前の運行	①バスの乗り方教室開催 沿線各地区でのバスの乗り方教室を実施 ②日立市のお出掛け支援事業に協力し、お得な路線バス運賃カードを販売 ③2019年3月BRT(大甕駅～多賀駅間)本格運行実施にあわせ、日立市内のバス路線の再編を実施。 ④2019年3月BRT(大甕駅～多賀駅間)本格運行実施にあわせ、常陸太田市内のバス路線の再編を実施。	A 計画に位置付けられた事業は適切に実施された。	B 【目標】 ○1日当たり輸送量 15.4人 ○収支率 48.0% ○収入増 5,822千円/年 ○輸送人員増 9,778人/年 【結果】 ○1日当たり輸送量 28.1人 ○収支率 49.8% ○収入増 2,598千円/年 ○輸送人員増 5,423人/年	持続可能な運行を実施するため、沿線市(日立市・常陸太田市)と連携し、利用者のニーズを活かした運行を行う。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年1月30日

協議会名: 茨城県バス対策地域協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
茨城交通株 系統:日立駅～十王駅前 (砂沢経由)	日立駅～砂沢～十王駅前の運行	①バスの乗り方教室開催 沿線各地区でのバスの乗り方教室を実施。 ②日立市のお出掛け支援事業に協力し、お得な路線バス運賃カードを販売 ③ポスティングの実施	A 計画に位置付けられた事業は適切に実施された。	B 【目標】 ○1日当たり輸送量 23.9人 ○収支率 67.5% ○収入増 60千円/年 ○輸送人員増 300人/年 【結果】 ○1日当たり輸送量 22.8人 ○収支率 81.8% ○収入増 △66千円/年 ○輸送人員増 △1,404人/年	県・沿線市町村・関係機関との連携を密にして、バス利用案内、啓蒙活動を実施するとともに、自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起こしを図り、目標達成に向けた取り組みを行う。
茨城交通株 系統:日立駅～十王駅前 (国道6号経由)	日立駅～国道6号～十王駅前の運行	①バスの乗り方教室開催 沿線各地区でのバスの乗り方教室の実施 ②日立市のお出掛け支援事業に協力し、お得な路線バス運賃カードを販売 ③ポスティングの実施	A 計画に位置付けられた事業は適切に実施された。	A 【目標】 ○1日当たり輸送量 20.2人 ○収支率 52.4% ○収入増 110千円/年 ○輸送人員増 500人/年 【結果】 ○1日当たり輸送量 22.0人 ○収支率 69.4% ○収入増 382千円/年 ○輸送人員増 573人/年	県・沿線市町村・関係機関との連携を密にして、バス利用案内、啓蒙活動を実施するとともに、自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起こしを図り、目標達成に向けた取り組みを行う。
事業者:関東鉄道株 系統:水戸駅～石岡駅	水戸駅～奥ノ谷～石岡駅の運行	鉄道線との接続等、利用客のニーズを的確に捉えた運行時刻の設定や土日限定IC1日乗車券の発売等の利用促進策を講じた。	A 計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 輸送人員73,980人の目標に対し、85,420人で目標を達成した。	利用者の流動実態を把握し、適切な運行を行うことに加え、沿線住民に対し、当該路線の周知活動を実施する。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年1月30日

協議会名： 茨城県バス対策地域協議会

評価対象事業名： 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
事業者:関東鉄道株 系統:筑波山口～土浦駅西口	筑波山口～土浦一高前～土浦駅西口の運行	鉄道線との接続等、利用客のニーズを的確に捉えた運行時刻の設定や土日祝日限定IC1日乗車券を発売したほか、沿線小学生を対象としたバスの乗り方教室開催等の利用促進策を講じた。	A	計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 輸送人員171,285人の目標に対し、143,310人で目標を達成できなかった。要因としては、通学利用者の減少が考えられる。	利用者の流動実態を把握し、適切な運行を行うことに加え、沿線住民に対し、当該路線の周知活動を実施する。
事業者:関東鉄道株 系統:水海道駅～土浦駅西口	水海道駅～みどりの駅～土浦駅西口の運行	土日祝日限定IC1日乗車券の発売や、沿線小学生を対象としたバスの乗り方教室開催等の利用促進策を講じた。	A	計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 輸送人員72,217人の目標に対し、84,248人で目標を達成した。	利用者の流動実態を把握し、適切な運行を行うことに加え、沿線住民に対し、当該路線の周知活動を実施する。
事業者:関東鉄道株 系統:みどりの駅～土浦駅西口	みどりの駅～農林団地中央～土浦駅西口の運行	土日祝日限定IC1日乗車券の発売や、沿線小学生を対象としたバスの乗り方教室開催等の利用促進策を講じた。	A	計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 輸送人員66,089人の目標に対し、64,635人で目標を達成できなかった。要因としては、通学利用者の減少が考えられる。	利用者の流動実態を把握し、適切な運行を行うことに加え、沿線住民に対し、当該路線の周知活動を実施する。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年1月30日

協議会名： 茨城県バス対策地域協議会

評価対象事業名： 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況		⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
事業者:関東鉄道(株) 系統:岩井バスターミナル～守谷駅西口	岩井バスターミナル～きぬの里～守谷駅西口の運行	鉄道線との接続等, 利用客のニーズに合った運行時刻の設定や土日限定IC1日乗車券の発売等の利用促進策を講じた。	A	計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A	輸送人員46,683人の目標に対し、65,657人で目標を達成した。	利用者の流動実態を把握し、適切な運行を行うことに加え、沿線住民に対し、当該路線の周知活動を実施する。
事業者:関東鉄道(株) 系統:牛久駅～桜ヶ丘団地	牛久駅～桜ヶ丘団地の運行	鉄道線との接続等, 利用客のニーズに合った運行時刻の設定や土日限定IC1日乗車券の発売等の利用促進策を講じた。	A	計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B	輸送人員59,120人の目標に対し、45,103人で目標を達成できなかった。要因としては、沿線団地住民の減少が考えられる。	利用者の流動実態を把握し、適切な運行を行うことに加え、沿線住民に対し、当該路線の周知活動を実施する。
事業者:関東鉄道(株) 系統:牛久駅～緑が丘団地	牛久駅～森の里～緑が丘団地の運行	鉄道線との接続等, 利用客のニーズに合った運行時刻の設定や土日限定IC1日乗車券の発売等の利用促進策を講じた。	A	計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A	輸送人員56,892人の目標に対し67,219人で目標を達成した。	利用者の流動実態を把握し、適切な運行を行うことに加え、沿線住民に対し、当該路線の周知活動を実施する。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年1月30日

協議会名: 茨城県バス対策地域協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況		⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
事業者: 関東鉄道(株) 系統: 藤代駅～自由ヶ丘団地	藤代駅～自由ヶ丘団地の運行	鉄道線との接続等, 利用客のニーズに合った運行時刻の設定や土日限定IC1日乗車券の発売等の利用促進策を講じたほか、輸送需要に見合った運行本数への減便を実施し、収支率の向上を図った。	A	計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A	輸送人員44,003人の目標に対し51,581人で目標を達成した。	利用者の流動実態を把握し、適切な運行を行うことに加え、沿線住民に対し、当該路線の周知活動を実施する。
事業者: 関東鉄道(株) 系統: 牛久駅～みどりの駅	牛久駅～桜ヶ丘団地～みどりの駅の運行	鉄道線との接続等, 利用客のニーズに合った運行時刻の設定や土日限定IC1日乗車券の発売等の利用促進策を講じた。	A	計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B	輸送人員151,140人の目標に対し142,704人で目標を達成できなかった。要因としては、沿線団地住民の減少が考えられる。	利用者の流動実態を把握し、適切な運行を行うことに加え、沿線住民に対し、当該路線の周知活動を実施する。
事業者: 関東鉄道(株) 系統: 取手駅西口～谷田部車庫	取手駅西口～高岡～谷田部車庫の運行	鉄道線との接続等, 利用客のニーズに合った運行時刻の設定や土日限定IC1日乗車券の発売等の利用促進策を講じた。	A	計画に位置づけられた事業は適切に実施された。	A	輸送人員68,096人の目標に対し92,347人で目標を達成した。	利用者の流動実態を把握し、適切な運行を行うことに加え、沿線住民に対し、当該路線の周知活動を実施する。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年1月30日

協議会名: 茨城県バス対策地域協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
事業者: 関東鉄道(株) 系統: 荒川沖駅東口～県立医療大学	荒川沖駅東口～東京医科大学病院～県立医療大学の運行	土日祝日限定のIC1日乗車券の発売や、沿線小学生を対象としたバスの乗り方教室開催等の利用促進策を講じた。	A 計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A 輸送人員54,232人の目標に対し63,652人で目標を達成した。	利用者の流動実態を把握し、適切な運行を行うことに加え、沿線住民に対し、当該路線の周知活動を実施する。
事業者: 関東鉄道(株) 系統: 竜ヶ崎駅～江戸崎	竜ヶ崎駅～済生会病院～江戸崎の運行	土日限定IC1日乗車券の発売や、沿線住宅への時刻表のポスティング等の利用促進策を講じた。	A 計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A 輸送人員30,356人の目標に対し、32,069人で目標を達成した。	利用者の流動実態を把握し、適切な運行を行うことに加え、沿線住民に対し、当該路線の周知活動を実施する。
事業者: 関東鉄道(株) 系統: 竜ヶ崎駅～取手駅東口	竜ヶ崎駅～光風台団地～取手駅東口の運行	土日限定IC1日乗車券の発売や、沿線住宅への時刻表のポスティング等の利用促進策を講じた。	A 計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A 輸送人員82,368人の目標に対し、96,634人と目標を達成した。	利用者の流動実態を把握し、適切な運行を行うことに加え、沿線住民に対し、当該路線の周知活動を実施する。
事業者: 関東鉄道(株) 系統: 鹿島神宮駅～銚子駅	鹿島神宮駅～柳川上～銚子駅の運行	土日祝日限定IC1日乗車券の発売や、沿線小学生を対象としたバスの乗り方教室開催等の利用促進策を講じた。	A 計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 輸送人員103,145人の目標に対し、99,167人と目標を達成できなかった。要因としては、通学利用者の減少が考えられる。	利用者の流動実態を把握し、適切な運行を行うことに加え、沿線住民に対し、当該路線の周知活動を実施する。
事業者: 茨城急行自動車(株) 系統: 古河駅東口～友愛記念病院	古河駅東口～古河第一高校前～友愛記念病院の運行	将来的な通勤利用者を確保するため、時刻表の配布等による共通学生フリーパスの販売促進策を実施。	A 計画に位置づけられた事業は適切に実施された。	C 1日当たり輸送量18.4人、収支率62.6%の目標に対し、1日当たり輸送量は17.1人、収支率は54.3%となり目標を達成できなかった。沿線の通勤等の利用客の減少、償却費を含む費用の上昇により目標を達成できなかった。事業実施により沿線住民の通勤・通学、通院等に必要の移動手段は確保された。	車内、沿線学校等での時刻表の配布を行い利用促進及び経費の削減で目標の達成を図る。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年1月30日

協議会名: 茨城県バス対策地域協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
事業者:茨城急行自動車(株) 系統:古河駅東口～八千代町役場	古河駅東口～牛ヶ谷～八千代町役場の運行	将来的な通勤利用者を確保するため、時刻表の配布等による共通学生フリーパスの販売促進策を実施。	A	計画に位置付けられた事業は適切に実施された。	C 1日当たり輸送量44.2人、収支率72.6%の目標に対し、1日当たり輸送量は39.0人、収支率は58.2%となり目標を達成できなかった。沿線の通勤等の利用客の減少、償却費を含む費用の上昇により目標を達成できなかった。事業実施により沿線住民の通勤・通学、通院等に必要な移動手段は確保された。	車内、沿線学校等での時刻表の配布を行い利用促進及び経費の削減で目標の達成を図る。
事業者:茨城急行自動車(株) 系統:古河駅東口～三和庁舎	古河駅東口～牛ヶ谷～三和庁舎の運行	将来的な通勤利用者を確保するため、時刻表の配布等による共通学生フリーパスの販売促進策を実施。	A	計画に位置付けられた事業は適切に実施された。	C 1日当たり輸送量27.3人、収支率84.2%の目標に対し、1日当たり輸送量は25.2人、収支率は72.8%となり目標を達成できなかった。沿線の通勤等の利用客の減少、償却費を含む費用の上昇により目標を達成できなかった。事業実施により沿線住民の通勤・通学、通院等に必要な移動手段は確保された。	車内、沿線学校等での時刻表の配布を行い利用促進及び経費の削減で目標の達成を図る。
事業者:茨城急行自動車(株) 系統:古河駅東口～三和庁舎	古河駅東口～丘里工業団地～三和庁舎の運行	将来的な通勤利用者を確保するため、時刻表の配布等による共通学生フリーパスの販売促進策を実施。	A	計画に位置付けられた事業は適切に実施された。	B 1日当たり輸送量43.2人、収支率69.3%の目標に対し、1日当たり輸送量は44.5人、収支率は65.8%となり輸送量は目標を達成できたが償却費を含む費用の上昇により収支率は目標を達成できなかった。事業実施により沿線住民の通勤・通学、通院等に必要な移動手段が確保された。	車内、沿線学校等での時刻表の配布を行い利用促進及び経費の削減で目標の達成を図る。
事業者:茨城急行自動車(株) 系統:岩井線	野田市駅～下町～岩井車庫の運行	将来的な通勤利用者を確保するため、時刻表の配布等による共通学生フリーパスの販売促進策を実施。	A	計画に位置付けられた事業は適切に実施された。	A 1日当たり輸送量59.2人、収支率77.5%の目標に対し、1日当たり輸送量は65.1人、収支率は78.2%となり目標を達成した。事業実施により沿線住民の通勤・通学、通院等に必要な移動手段は確保された。	車内、沿線学校等での時刻表の配布を行い利用促進及び経費の削減で目標の達成を図る。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年1月30日

協議会名： 茨城県バス対策地域協議会

評価対象事業名： 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況		⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
事業者名:朝日自動車(株) 境車庫～釈迦～古河駅西口	境車庫～釈迦～古河駅西口の運行	共通学生フリーパスの販売時期(平成30年9月～10月、平成31年3月～4月)に合わせ沿線の学校や自社ホームページとバス車内で周知。	A	事業が計画に位置付けられた通り、適切に実施された。	A	輸送人員の目標75,241人に対して実績は101,190人となり目標を達成した。	引き続き共通学生フリーパスの販売促進を図る。 バスロケーションシステムを導入し、利便性向上図り、システムデータを今後の運行計画に活用する。
事業者名:朝日自動車(株) 五霞町役場～幸手駅	五霞町役場～幸手駅の運行	平成31年3月～4月に権現堂公園で開催される「桜まつり」に合わせ、まつり会場へバスの乗入れを実施。 イベント時にバス教室を実施。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A	輸送人員の目標48,788人に対して実績は53,852人となり目標を達成した。	桜まつり開催時は渋滞が発生するため、関係各所と連携しバスの定時性確保を図り利用増に繋げる。 バスロケーションシステムを導入し、利便性向上図り、システムデータを今後の運行計画に活用する。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)案

令和元年1月30日

協議会名: 茨城県バス対策地域協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金(車両減価償却費)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
事業者: 関東鉄道 路線: 水海道駅～土浦駅西口	水海道駅～みどりの駅～土浦駅西口間におけるノンステップバスの導入	水海道駅～土浦駅西口間におけるノンステップバスの走行率を向上させ、利用者利便の向上を図る。	A 事業が計画に位置付けられた通り、適切に実施された。	A 水海道駅～土浦駅西口間におけるノンステップバスの走行率を50%以上とするという目標に対し、走行率65%となった。	引続きノンステップバスの導入を計画的に進める。